

# 東京町工場

Beretta P-08

堂島社



9784844134930



1920072015001

# 東京町工場

Beretta P-08

堂島社



# 機械の動力伝達の要である キー溝加工技術のバイオニア

## 株式会社城南キー

代表者…代表取締役社長 安原良二

設立…一九七二年

住所…東京都大田区神南上二一八一三

事業内容…スロッターによる各種機械加工・キー溝加工全般・シャフトキー溝加工・スロッターインクマシー

ン販売

主力商品…キー溝加工全般

従業員数…七名

取引先…中小企業を中心として約一千社

年商…約八千五百万円



P 橋上 キー溝は製造加工の最終工程でもあり、加工精度が性能を左右する。

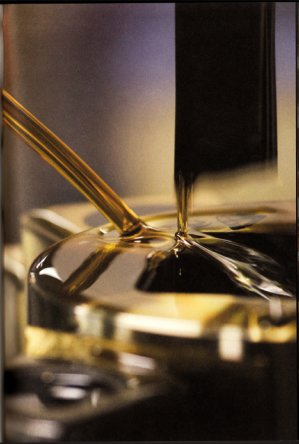
P 橋下 日本橋一のエルマス社製キー溝加工機はいくつもの機種を兼ね備えた洋の舶来品である。

P 深田 結果加工技術と結び添えられた感性が製品の良否を決める。

P 橋上 機械工場とは異なるいほご多岐にわたる作業場には真面目なまなざしと細かい気配がふれる。

P 橋下 機械の技で紡ぐ顧客との信頼関係。

写真・文：小野友直



安房社長率いる城南キーは、東京都大田区仲池上にある。日本唯一ともいわれる精密なキー溝加工技術をもって、日本全国からの加工依頼にこたえていく。

キー溝とは電動機などの動力を伝える軸と歯車などを固定する溝である。機械の肝ともいえる部分であり、多くの機械で使われている。城南キーは一九七二年四月に安房社長の父である安房賢会長により城南キーカット社として設立された。

会社設立のきっかけは、知人からの機械工場の買取依頼であった。その工場ではキー溝加工も手掛けていたが、そこでは顧客の都合より、工場の都合が優先され、キー溝加工を依頼した顧客の困った顔が会長の目に焼きついた。会長はキー溝加工の経験は全くなかったが、顧客第一で営業すれば事業として成功できると考え、工場を機械ごと買い取り、会社設立に踏み切った。その後、一九八二年に安房社長が社員と

して入社。一九八三年に現在の株式会社城南キーを設立する。それから二〇年後の二〇〇三年に社長に就任することとなる。従来、キー溝は動力を伝えることが重要な役割であり、精度を要するものはわずかであったが、ISO等のマネジメント認証を受ける企業が多くなるにつれ、精度を要求されることが多くなった。

キー溝加工の中でも、パイプの内面に溝を切るものは、外側のものに比べ精度を上げるのが難しく、長いものや細い物では加工できないものもあった。そこで、一九九〇年、安房社長は既存の方法に因りない、スイス・エルマ

ス社製のキー溝加工機械（スロッター）の導入を考えたが、先輩たちにはことごとく反対された。しかし、日本で唯一の技術を得ることの可能性を信じ、導入を決めた。導入当初は、加工精度が出ず、切削油や専用刃の調整、機械の改造など試行錯誤を繰り返したが、二年の歳月をかけてエルマス社の技術と自社のノウハウを融合させ、長く細いパイプ材料に精度の高いキー溝を切ることが成功した。それから、エルマス社製スロッターによる高精度の加工技術は、城南キーを支える主要技術に成長し、顧客の期待にこたえ続けている。

